

研究機関：広島大学

研究課題名	薬剤師による緑内障の病型把握の実態調査
研究責任者名	広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究期間	2022 年 6 月(許可日) ～ 2023 年 3 月 31 日
対象者	2021 年 3 月から 2021 年 4 月の間に、広島大学病院に入院された成人の緑内障の患者さん。
意義・目的	これまで緑内障患者にとって抗コリン薬は、病型の区別なく禁忌とされていましたが、2019 年に日本眼科学会より要望書が提出され、抗コリン作用を有する薬剤の添付文書における禁忌が「緑内障」から「閉塞隅角緑内障」へと変更され、開放隅角緑内障患者に対して抗コリン薬が使用できるようになりました。 それに伴い、安全で適切な薬物治療を提供するために、薬剤師が患者さんの緑内障の病型を把握することが必要となりました。しかしながら、薬剤師がどのように病型把握を行っているかがまとめられたデータは存在しません。 本研究では、病棟薬剤師が緑内障の病型把握をどのように行っているか、その件数を明らかにすることを目的としています。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は既往歴、性別、持参薬、処方薬、指示簿、薬剤管理指導記録、診療科です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	広島大学病院のみで実施します。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。 ＊研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5579 広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者） 薬剤師 山田 行徳（担当者）